



議会だより

# でいすかす

83号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2016.8.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます



## 一般質問 議員9名が 市政を問う

### 平成28年第2回定例会



地域包括ケアシステム  
構築について  
木村 俊子

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年をめどに、重度な介護状態となっても

住み慣れた地域で暮らし続けることができよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が提供されることを目指して、訪問介護・通所介護を地域の実情に応じた地域支援事業へ移行するが、その時期は。

地域支援事業へは、平成29年4月1日から移行する。

多様な生活支援や、高齢者の社会参加と地域の支え合い体制は。

軽度の支援を必要とする高齢者の増加が予想される。高齢者を含めた市民ボランティアやNPO、民間企業などの多様な参加が必要と考える。関係者間による課題や、ニーズと地域資源の把握などを行い支援体制の構築に向けて検討する。

認知症施策の推進状況は。

本年10月に「認知症初期集中支援チーム」を設け、認知症の早期発見、早期診断、早期対応に取り組む。



交通安全強化と  
スポーツ振興について  
工藤 俱一雄

近年、飲酒を伴う悲惨な交通事故が続いています。事故を未然に防ぐ方法はないだろうかとの思いから、「痛ましい事故だったね」で終わらせるのではなく、教訓として交通安全意識の向上に関する取り組みについて質問しました。

市は、啓発活動の充実を図り、飲酒運転根絶に向けて取り組むとの答弁でした。

スポーツ振興については、市内のスポーツ施設の問題点を質問したところ、建物やフェンスの老朽化が著しく、根本的な改修が必要と認識してはいるものの、財政面から応急処置に留まっているとの答弁でした。サンライバスキー場についても、リフトの修繕に多額な費用を要することが課題となっています。

また、スポーツを始めるきっかけづくりについては、中学校での部活動が心身の成長に大きな役割を果たすことから、部活動紹介や複数校による合同チームの編成を進め、多くの生徒が部活動に参加しやすい体制づくりが進められています。